

日時：二〇一〇年五月八〜九日 W E 土曜第一〜聖日第二、三礼拝  
主題『人を生かす道』 聖書箇所：マタイ伝一八章二一〜三五節  
(聖書箇所)

1821 そのとき、ペトロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」22 イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。」

23 そこで、天の国は次のようにたとえられる。ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。24 決済し始めたところ、一万タラントン借金している家来が、王の前に連れて来られた。25 しかし、返済できなかつたので、主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。26 家来はひれ伏し、『どうか待ってください。きっと全部お返しします』としきりに願った。27 その家来の主君は憐れに思つて、彼を赦し、その借金を帳消しにしてやった。

28 ところが、この家来は外に出て、自分に百デナリオンの借金をしている仲間に出会つと、捕まえて首を絞め、『借金を返せ』と言つた。29 仲間はひれ伏して、『どうか待ってください。返すから』としきりに頼んだ。30 しかし、承知せず、その仲間を引っぱつて行き、借金を返すまでと牢に入れた。

31 仲間たちは、事の次第を見て非常に心を痛め、主君の前に出て事件を残らず告げた。32 そこで、主君はその家来を呼びつけて言つた。『不届きな家来だ。お前が頼んだから、借金を全部

帳消しにしてやったのだ。33 わたしがお前を憐れんでやった

ように、お前も自分の仲間を憐れんでやるべきではなかつたか。

34 そして、主君は怒つて、借金をすっかり返済するまでと、家来を牢役人に引き渡した。

35 あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの父もあなたがたに同じようになさるであらう。」

(聖書解説)

A (前半の話) ペトロの問いから、譬えは始まる。王は三千万の借金を背負つた家来を) ( ) に思つて返済を免除する。

B (後半の話) 多額の返済を免除された家来は、自分が貸した六十万円を減免せず、( ) 者を牢屋にぶち込んだ。

C (結論) 他人を赦さぬ者は、自分も) ( ) されることはない。

D (学び) 赦すことは、相手を) ( ) かす道を開き、最終的には自分も生かされる世界を開いていく。

E (学び) 赦しは、自らの信仰に基づいて、決断するものであつて、( ) ( ) 発生的に起こるものではない。

A 憐れ B 債務 C 赦 D 生 E 自然

メッセージポイント

他人を赦す者は ) ( も赦され、裁かれることはない。

参照) マタイ伝 23:32 あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに同じようになさるであろう」

参照) マタイ伝 23:32 「人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。

KCCモットー 『裁かない、裁かれない』

モットー：心しておくべき努力目標！

赦し合う中で、互いが ) ( 合い、強く組み合わされる。

参照) エフエソ書 4:16 キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことにより、しっかり組み合わされ、結び合わされて、おのこの部分は分にに応じて働いて体を成長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。…… 22 互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださいように、赦し合いなさい。